

vol. 2200

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】横道 信哉 【印刷】佐伯印刷(株) 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 日教組第162回臨時大会
- 2018春闘期のとりくみ! その2 一地公労 春闘要求書を知事に提出
- 大分県議会議員選挙 一宇佐市選挙区「おじま保彦」見事3期目の当選を果たす!
大分市選挙区「ごとう慎太郎」も2期目の当選を勝ちとる
- シリーズ～教室から国会へ～「みずおか俊一」に聞く②

日教組 第162回中央委員会

と き : 3月12日(火) ところ : 日本教育会館

日教組第162回臨時大会が開催され、大分高から中央委員として利光書記長、監査委員長として横道委員長の2人が参加しました。

冒頭、岡島真砂樹中央執行委員長はあいさつで、子どもへの暴力・虐待などのいじめ・人権にかかわる事件が連日報道される昨今、深刻さを増す子どもをとりまく状況について触れ、「本年は子どもの権利条約の国連採択から30年、日本が批准して25年の節目の年。権利条約にある「生きる権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、意見表明権を含む「参加する権利」等を改めて確認・共有し、日頃の子どもとのかかわりや意見や思いを活かした教育活動につなげていかなければなりません。」と述べました。また、教職員の働き方改革については、学校現場の実態をふまえた具体的改善策や教育条件整備を求めていく必要性を訴えました。そして最後に、安倍一強政権による強権的な国会運営が続く中、「安倍政権の暴走に何としてもストップをかけなければならない。7月の参議院選挙では、私たち学校現場の代表である比例区「みずおか俊一」、北海道選挙区「勝部けんじ」の必勝にむけ、全国連帯による組織の総力をあげたとりくみをお願いします。」と締めくくりました。



あいさつをする
岡島委員長

その後の清水書記長の提案等を受け、予算に関する件や、喫緊の課題である学校現場の教職員の多忙化解消について、活発に質疑・応答が、意見交換がなされました。大分高教組からは中央委員として利光書記長が、執行部原案賛成の立場で討論に立ち、インクルーシブ教育推進にむけた学校現場における合理的配慮、特に高校入試における情報共有について、大分における保護者負担軽減のとりくみを報告するとともに、教育の機会均等にむけた保護者負担軽減のとりくみ、とりわけ高校授業料の早期無償化復元にむけたとりくみの強化を求めました。そして、「職場をとりくみの原点とし、働き方改革、組働き方改革、組織拡大・強化をすすめる特別決議」『安倍政権による憲法「改正」に反対し、憲法理念の実現をめざす特別決議』の2つの特別決議を採択したのち、最後は、岡島委員長と参加者による力強い「団結がんばろう」で会を締めくくりました。

討論に立つ
利光書記長

横道信哉監査委員長 (前大分高教組委員長) 退任

日教組監査委員を務めてきた横道信哉前大分高教組委員長が、この3月に大分高教組委員長を退任したのに伴い、日教組監査委員も退任することとなりました。横道前委員長は、日教組九州地区協議会を代表して日教組の監査委員を務め、最後は監査委員長として監査委員会をとりまとめてきました。

長い間お疲れさまでした。

2018春闘期のとりのくみ! その2

地公労 春闘要求書を知事に提出 - 3/14 - 教育長にも両教組から春闘要求書を提出 - 4/19

3月14日(木)地公労(大分県地方公務員労働組合共闘会議 議長:横道信哉高教組委員長)は、広瀬勝貞大分県知事に対し、春闘要求書を提出しました。また、教育長に対しても4月19日、両教組から春闘要求書を提出しました。

冒頭、横道議長が「私たちは県の職員として、県民生活や行政に対して信頼を第一に職務に精励してきた。職員全員が健康で、活き活きと働くことができる職場環境づくりに向け要求をまとめてきた。これまでの各交渉において、知事には丁寧に対応いただいているが、来年度も解決にむけての努力をお願いしたい。」と述べ、要求書を手交しました。これに対し広瀬知事は、「誠意をもって対応したい。」と応じました。

春闘要求項目(抜粋) ※下線は教育長のみ

1 賃金に関する要求

- 公務員労働者の生活向上のため、人事委員会勧告を上回る改善を行うこと。
- 基本給を平均8,600円以上引き上げること。
- 各職給料表の継ぎ足しを行うこと。
- 現給保障を廃止しないこと。
- 諸手当について、次のとおり改善すること。
 - ・扶養手当の支給額の引き上げを行うとともに、支給要件の改善を行うこと。
 - ・通勤手当については上限額と支給除外距離を撤廃すること。また、交通用具利用者に対する手当を増額するとともに、高速道路等の通行料金全額を手当に加算すること。
 - ・育児休業給を給与月額的全額支給すること。また、育児休業期間全てを対象に一時金を支給すること。
- 教育職給料表については、現行級間格差を解消し、通し号給制とすること。
- 教育職(一)・(二)表の級間の格差を縮小するとともに、その一本化の実現をはかること。
- 実習教諭制度・寄宿舎教諭制度を確立すること。

3 職員採用に関する要求

- (教)職員採用における国籍条項を廃止すること。
- 教職員採用数を拡大すること。
- 「障害」者の雇用を拡大するとともに職場環境の整備を行うこと。

4 労働時間短縮、休日・休暇制度および諸権利に関する要求

- 所定労働時間内で業務が終わるよう、職場環境を改善すること。
- 教職員の多忙な現状を改善するため労働時間の短縮、指定研修・各種研修・行事等の一層の削減をはかること。
 - ・一日の勤務時間を7時間30分とすること。
 - ・勤務間インターバルとして11時間以上を確保すること。
 - ・超過勤務縮減に向け実効ある対策を講じること。
 - ・年次有給休暇の取得促進に努めること。
 - ・「5月の連休」、「夏季休暇期間」、「年末年始の休暇」をそれぞれ最低1週間以上の連続した休暇が取得できるよう環

境を整備すること。

- ・メーデーは、全職員対象の特別休暇とすること。
- ・泊を伴う県立学校の舎監業務については、勤務の割り振りをを行うこと。
- ・超勤縮減にむけて県教委が主体的に事業を見直し、具体的・実効的な方策を示すとともに、職場の超勤実態を改善するよう校長を指導すること。また、「教職員勤務実態改善検討会」を活性化すること。

6 地方行財政改革・公務員制度改革・教育臨調に関する要求

- 憲法を守り、その精神に基づいた教育行政を進めること。
- ・義務教育費国庫負担制度について、国負担率を2分の1へ還元するとともに、制度を拡充するよう国へ働きかけること。
- ・すべての子どもに後期中等教育を保障する観点から、高校授業料を無償制度に戻すよう国に働きかけること。当面は、高等学校等就学支援金制度について、諸課題の解決に努めること。
- ・家庭の経済格差を補い教育の機会均等を保障するため、給付型奨学金の拡充や通学費等奨学金の基準改正など、奨学金制度の改善をはかること。また、奨学金返済支援制度の対象を拡大すること。
- ・高校並びに特別支援学校の再編・統合については、地域住民、子ども、保護者、学校現場の声を充分反映させること。
- ・高等学校の学校間格差を広げ、受験競争をさらに激化させている全県一通学区については見直すこと。
- ・平和で民主的な社会を形成する主権者の育成に向け政治的教養の教育(主権者教育)の充実を図ること。

大分県議会議員選挙

宇佐市選挙区「おじま保彦」見事3期目の当選を果たす！

大分市選挙区「ごとう慎太郎」も2期目の当選を勝ちとる

4月7日(日)投開票の大分県議会議員選挙において、大分高教組の組織内県議である「おじま保彦」(宇佐市選挙区)が3期目の当選を勝ちとることができました。定数3に対し立候補予定者3という状態で告示日を迎え、そのまま当選が確定しました。一方、大分市選挙区では、内田淳一元県議の後継でもある「ごとう慎太郎」も2期目の当選を勝ち取りました。定数13に対し16人が立候補した選挙戦でしたが、高教組は中央・大分両支部を中心に全県を挙げて支援にとりくみました。加えて、平和運動センターに結集する仲間や後援会の精力的な活動もあり、前回より順位を上げての当選となりました。

【開票結果】

宇佐市選挙区 定数3 (無投票)

◎	尾島保彦	無現
◎	末宗秀雄	自現
◎	元吉俊博	自現

大分市選挙区 定数13

◎	衛藤博昭	自現	19,634	◎	堤栄三	共現	10,075
◎	阿部英仁	自現	18,437	◎	後藤慎太郎	無現	9,232
◎	麻生栄作	自現	16,170	◎	藤田正道	無現	7,512
◎	平岩純子	無現	14,187	◎	小嶋秀行	国現	7,126
◎	木田昇	無現	13,076	◎	浦野英樹	立新	6,500
◎	河野成司	公現	12,999		竹内小代美	無元	6,227
◎	守永信幸	社現	11,422		黒川達郎	無新	1,354
◎	吉村哲彦	公新	11,363		箕迫高明	無新	232

有権者数：390,638人
 投票者数：169,681人
 投票率：43.44%
 投票総数：169,675票
 有効票数：165,546票
 無効票数：4,129票

シリーズ 教室から国会へ

第25回参議院議員通常選挙
 全国比例区立候補予定者
 「みずおか俊一」に聞く②

Q 水岡さんが参議院議員時代に注力した政策を教えてください。

A 私は、学びの保障なくして仕事を通じた自己実現も、安定した社会保障もなしえないと考えています。かつて日本の子どもの約6人に1人が貧困状態にあり、保護者の経済状況が「学習格差」につながり、人生の選択肢を狭めることはあってはならないと考え、参議院議員時代「高校授業料無償化



制度」導入に注力しました(現在の貧困率は約7人に1人)。すべての子どもに国が学習権を保障し、費用を社会全体で負担する趣旨の制度で、支え合う社会の基盤づくりとするためでした。しかしその後の法改正や、現在進んでいる就学前、大学等の「無償化」をうたう法案についても根本の趣旨が異なったものになってしまっています。皆さんの声をぜひお聞かせください。



プロフィール◎1956年兵庫県生まれ。県立豊岡高校から奈良教育大学に進学。兵庫県三木市の公立小中学校とニューデリー日本人学校で教職に就く。90年から兵庫県教職員組合に勤務し、04年に参議院議員選挙(兵庫県選挙区)初当選。10年に2期目当選。11年内閣総理大臣補佐官、13年参議院内閣委員長を歴任。
住所◎神戸市 **趣味**◎テニス、スキー、星の写真 他

1 教育 「誰でも学べる社会」

- 家庭の状況によらず、安心して学び続けられる制度の充実にとりくみます。
- 子どもたちにゆたかな学びを保障するため、教職員定数の改善と少人数学級の推進にとりくみます。
- 充実した教育環境を整えるため、教育予算の拡充につとめます。

2 暮らし 「安心して働ける社会」

- 教職員が健康で、充実感をもって働くことのできる環境整備をすすめます。
- 臨時・非常勤職員などの処遇改善と雇用の安定にむけた整備につとめます。
- 男女平等社会の実現、障害者の雇用促進など、一人ひとりが尊重される共生社会を実現します。

3 平和 「平和に暮らせる社会」

- 平和、人権、民主主義などの憲法理念が生かされる社会を実現します。
- 原発ゼロの早期実現とクリーンで安全な自然エネルギーの推進にとりくみます。
- 国連の持続可能な開発目標を推進し、すべての人が平和と豊かさを享受できる共生社会を実現します。

あんしん むすぶ
教職員共済

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

教職員共済は、 「教職員」だけがご加入いただける共済生協です!

「共済」とは、組合員同士の相互扶助(助け合い)による保障制度です。

教職員共済は、全国の学校・教育機関を職域とする共済生協として唯一、厚生労働省の認可を受けている団体です。

教職員とそのご家族の「万ー」のために、手頃な掛金で備えられるさまざまな共済を提供しています。

わたしたちは、「つながり」と「信頼」を原点とする生活協同組合として教職員の相互扶助の輪を広げます。

ご自身の「万ー」のために、仲間の「万ー」のために、
あなたもこの助け合いの輪に参加しませんか!

「あんしん むすぶ」
きりんのあむりんです!

「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート!

教職員賠償など12の保障をセット

総合共済

大切な住まいや家財のために

火災共済

(住宅災害等給付金付火災共済)

自然災害共済

「教職員」のための特色ある制度

自動車共済

死亡・高度障害を一生涯にわたって保障

新・終身共済

(終身生命共済)

病気・ケガによる万が一に備えて

トリプルガード

(団体生命共済・医療共済)

ケガ・事故・賠償に備えて

レスキュースリー

(交通災害共済)

愛車の万が一に備えて

車両共済

(車両保険)

セカンドライフのために

年金共済

(年金共済・適格年金共済)

詳細はWEBへ! 資料請求やお見積りはスマホでも簡単ラクラク!

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 大分県事業所

〒870-0951 大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館 2F

教職員共済

検索

